

検討課題「『研究に関する目標』の達成状況の評価」のWG検討結果

(研究業績等の水準判定)

- 研究の成果の評価に当たっては、その水準の判断が不可欠であり、国立大学法人等の研究活動を社会に向けて分かりやすく説明していく上でも重要な基礎となる。したがって、中期目標の達成状況の評価するには、研究業績等の水準判定を行う。
- この水準判定に当たっては、学問分野・領域ごとに多様な側面から調査及び分析することが必要である。その際、国際的な視点を踏まえた学術的な意義や、研究の成果の社会への還元に基づく効果等を重視する。
- どのような方法でこの判定を行うかなどについては、検討する。

1. 水準判定の方法**(1) 水準判定に必要な資料****① 研究業績等に関する調書**

水準判定に際しては、被評価者・評価者の負担と必要な評価者数、評価に要する期間などの実施体制を考慮すると、論文、著書等の成果物そのものを見て判断する方法ではなく、研究業績等に関する調書による判断を基本とする。

研究業績等に関する調書には、原則として、水準判定に不可欠な情報（業績の概要や、学術誌のレフェリー評価の結果等の外部評価の結果など）を記載又は根拠資料として添付する。

なお、上記調書の様式・内容をどのようにするか、また、水準判定の際に、成果物そのものによる判断が必要かどうか、必要な場合には、それへの対応等について、さらに検討する。

② 学部・研究科等の自己分析書

各国立大学法人等の学部・研究科等における組織としての研究の状況を適切に把握するために、各国立大学法人等に学部・研究科等の研究活動の状況に関する自己分析書を求めることが考えられる。

③ 客観的なデータの活用

必要に応じて研究活動に関する客観的なデータも参照する。

その際、機構が検討を進めている大学情報データベース等を活用する。

(2) 水準判定結果のとりまとめ方**① 学部・研究科等の水準判定**

水準判定結果は、各国立大学法人等の規模の違い（学部・研究科等数の違い）を考慮し、また、研究活動の状況を社会に向けてわかりやすく説明する必要から、国立大学法人等を構成する学部・研究科等ごとにとりまとめる。

② プロジェクト研究等の水準判定

中期目標・中期計画期間中に取り組まれた重点領域研究、プロジェクト研究等の水準判定は、それぞれについて行う。

(3) 調書を求める教員の範囲

水準判定は、組織全体の研究活動の状況及び研究の成果の質を判定するために行うものであり、社会への説明にも説得性が求められることから、全専任教員を対象とすることが考えられるが、評価組織、評価体制を考慮して更に検討する。ただし、助手については、各国立大学法人等で採用基準や職務内容が多様であることから、国立大学法人等の判断で、一部あるいは全部の助手を対象からはずすことができる。

(4) 対象とする研究業績等

対象とする研究業績等は、教員の研究活動の結果、得られた成果とする。例えば、論文、著書等の成果物のほか、招待講演、受賞、特許取得などが考えられる。

(5) 個別の業績等の水準判定を行う学問分野・領域の区分

個別の業績等の水準判定を行う学問分野・領域の区分は、それぞれの学問分野・領域の特性を踏まえた調査・分析ができ、各国立大学法人等及び教員が理解しやすいものであることが重要である。また、適切な評価者数及び評価作業量に配慮することも必要である。水準判定を行う学問分野・領域の区分は、科学研究費補助金の審査の際に使用される区分（「系(4)・分野(10)・分科(66)・細目(278)表」）の分科を基本とする。

水準判定を受ける区分の選択は、各教員の自己選択に委ねる。組織としての取組等に係るものについては、当該組織の自己選択に委ねる。この区分ごとに、学問的見識を有する専門家で構成する水準判定を行う部会を設ける。

(6) 水準判定の視点

水準判定に際しては、「学術的な意義」や「研究成果の社会への還元」に基づく効果等を重視するため、「学術的貢献」と「社会的貢献」の2つの評価の視点を設定する。

2. 実施にあたっての具体的検討課題

(1) 水準判定結果の具体的なとりまとめ方法

- ① 個別の研究業績等の水準判定の結果を、学部・研究科等でどのようにとりまとめるか。
- ② 水準判定は、どのような段階評価で行うか。
- ③ 水準判定の際に、研究業績等に関する調書以外に成果物そのものによる判断が必要か、必要な場合はそれへの対応等についてどうするか。
- ④ 研究業績の調書の具体的な様式をどうするか。
- ⑤ 研究活動に関する客観的なデータの具体的な活用方法をどのように考えるか。
- ⑥ 対象とする教員の範囲を全専任教員とするか。また、期間内で異動（退職）した教員の研究業績をどう扱うか。
- ⑦ 「学術的貢献」と「社会的貢献」の2つの視点を教員に自己申告（選択）させるのか。さらに、視点ごとの評価結果をどのようにまとめるのか。

(2) 水準判定結果の達成状況評価への活用

- ① 中期目標の達成状況の評価に際し、学部・研究科等及びプロジェクト研究等の水準判定の結果を、それぞれどのように活用するか。

検討課題『「研究に関する目標」の達成状況の評価』の検討について（案）

（研究業績等の水準判定）

- 研究の成果の評価に当たっては、その水準の判断が不可欠であり、国立大学法人等の研究活動を社会に向けて分かりやすく説明していく上でも重要な基礎となる。したがって、中期目標の達成状況の評価するには、研究業績等の水準判定を行う。
- この水準判定に当たっては、学問分野・領域ごとに多様な側面から調査及び分析することが必要である。その際、国際的な視点を踏まえた学術的な意義や、研究の成果の社会への還元に基づく効果等を重視する。
- どのような方法でこの判定を行うかなどについては、検討する。

- 研究業績等の水準判定は、研究の状況及び成果の質を判定するために行うもので、全ての国立大学法人等が対象となる。
水準判定はピア・レビューを原則とする。その具体的な方法等については、さらに検討する。

◆ 研究業績等の調査・分析の視点

基本的考え方

- 1) 研究活動や研究成果の質を把握し、社会的説明責任を果たすためには、量的側面からの評価だけではなく、水準判定を基礎とする質的な判定が不可欠である。したがって、全ての国立大学法人等が水準判定の対象となる。
- 2) 水準判定を行う場合には、研究活動や研究成果等について次の点を踏まえる。
 - ① 学術的な意義からは、国際的視点も考慮しつつ、独創性等を重視した分析。
 - ② 研究成果の社会への還元については、地域社会への貢献、地域との連携・協力の推進、国際社会への寄与等についての分析。

◆ 学問分野・領域の区分の考え方

基本的考え方

- 1) 水準判定を行うには、それぞれの学問分野・領域の特性を踏まえ、適切な区分の設定が必要である。
- 2) 適切な区分の設定に当たっては、次のことを踏まえる必要がある。
 - ① 各国立大学法人等及び研究者が理解しやすいものであること。
 - ② 適切な評価者数及び評価作業量に配慮した区分となること。

水準判定の流れ イメージ図

国立大学法人等

大学評価・学位授与機構

・研究活動の結果得られた成果（論文、著書、招待講演、受賞、特許など）の水準判定

研究業績調書

・研究業績調書には、水準判定に必要な情報（業績の概要、外部評価の結果など）を記載又は添付、ただし、調書の様式、内容については検討

研究者ごとの調書

- ・全専任教員を対象とすることが考えられる
- ・法人の判断で、助手の一部又全部を対象外とすることも可能

プロジェクトごとの調書

- ・中期目標・中期計画期間中に取組まれた重点領域研究
- ・学部・研究科等ごとのプロジェクト研究など

研究活動の状況についての自己分析書

- ・学部・研究科等ごとの状況を分析

客観的なデータ

- ・大学情報データベース等を活用（データは学部・研究科等单位）

ピア・レビューを受ける分野を科研費の「分科」から選択

分野ごとのピア・レビュー（分野ごとの判定）

- ・科研費の「分科」ごとに部会を設置
- ・当該分野の専門家による水準判定
- ・「学術的貢献」、「社会的貢献」の視点による評価

とりまとめ（学部・研究科等、プロジェクト等ごとの水準判定）

- ・分野ごとのピア・レビューの結果をとりまとめる
- ・客観的データ、学部・研究科等ごとの自己分析書を踏まえ判定

学部・研究科等の研究水準

- △△学部の研究水準
- 研究科の研究水準

プロジェクト等の研究水準

- △△プロジェクトの研究水準
- 重点領域研究の研究水準

平成16年度科学研究費補助金 系・分野・分科・細目表

系	分野	分科	細目名	細目番号	備考	系	分野	分科	細目名	細目番号
総合・新領域系	総合領域	情報学	情報学基礎	1001		人文社会科学系	人文学	哲学	哲学・倫理学	2801
			ソフトウェア	1002					中国哲学	2802
			計算機システム・ネットワーク	1003	A B				印度哲学・仏教学	2803
									宗教学	2804
			メディア情報学・データベース	1004	A B				思想史	2805
			知能情報学	1005					美学・美術史	2806
			知覚情報処理・知能ロボティクス	1006	A B			文学	日本文学	2901
			感性情報学・ソフトウェア・IT	1007	A B				ヨーロッパ語系文学	2902
			情報図書館学・人文社会情報学	1008	A B				各国文学・文学論	2903
			認知科学	1009			言語学	言語学	3001	
			統計科学	1010				日本語学	3002	
			生体生命情報学	1011	A B			英語学	3003	
	神経科学	神経科学	神経科学一般	1101				日本語教育	3004	
			神経解剖学・神経病理学	1102	A B			外国語教育	3005	
			神経化学・神経薬理学	1103			史学	史学一般	3101	
			神経・筋肉生理学	1104	A B			日本史	3102	
	実験動物学	実験動物学	実験動物学	1201				東洋史	3103	
								西洋史	3104	
	人間医工学	人間医工学	医用生体工学・生体材料学	1301	A B			考古学	3105	
			医用システム	1302			人文地理学 文化人類学	人文地理学	3201	
			リハビリテーション科学・福祉工学	1303	A B			文化人類学・民俗学	3301	
	健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学	身体教育学	1401	A B	社会科学	法学	基礎法学	3401	
			スポーツ科学	1402	A B			公法学	3402	
			応用健康科学	1403	A B			国際法学	3403	
	生活科学	生活科学	生活科学一般	1501	A B			社会法学	3404	
			食生活学	1502	A B			刑事法学	3405	
								民法学	3406	
	複合新領域	科学教育・教育工学	科学教育	1601				新領域法学	3407	
			教育工学	1602			政治学	政治学	3501	
			科学社会学・科学技術史	1701				国際関係論	3502	
		文化財科学	文化財科学	1801			経済学	理論経済学	3601	
			文化財科学	1801				経済学説・経済思想	3602	
	複合新領域	環境学	地理学	1901				経済統計学	3603	
			環境動態解析	2001				応用経済学	3604	
			環境影響評価・環境政策	2002	A B			経済政策	3605	
			放射線・化学物質影響科学	2003	A B			財政学・金融論	3606	
			環境技術・環境材料	2004	A B			経済史	3607	
		ナノ・マイクロ科学	ナノ構造科学	2101	A B		経営学	経営学	3701	
			ナノ材料・ナノバイオサイエンス	2102	A B			商学	3702	
			マイクロ・ナノデバイス	2103	A B			会計学	3703	
		社会・安全システム科学	社会システム工学・安全システム	2201	A B		社会学	社会学	3801	
			自然災害科学	2202	A B			社会福祉学	3802	
		ゲノム科学	基礎ゲノム科学	2301	A B		心理学	社会心理学	3901	
			応用ゲノム科学	2302	A B			教育心理学	3902	
		生物分子科学	生物分子科学	2401				臨床心理学	3903	
			生物分子科学	2401				実験心理学	3904	
		資源保全学	資源保全学	2501	A B		教育学	教育学	4001	
			資源保全学	2501	A B			教育社会学	4002	
		地域研究 ジェンダー	地域研究	2601				教科教育学	4003	
			ジェンダー	2701				特別支援教育	4004	

「総合・新領域系」の備考欄において、**A、Bと表示のある26細目**は、キーワードにより2分割されたグループ毎に第1段審査を行うので、これらの細目に申請する場合には、「系・分野・分科・細目表」付表キーワード一覧（総合・新領域系）（24～28頁参照）により、必ず、**A又はBを選択し、申請すること。**

系	分野	分科	細目名	細目番号
理工系	数物系科学	数学	代数学	4101
			幾何学	4102
			数学一般(含確率論・統計数学)	4103
			基礎解析学	4104
			大域解析学	4105
		天文学	天文学	4201
			素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理	4301
		物理学	物性	4302
			物性	4303
			数理物理・物性基礎	4304
			原子・分子・量子エレクトロニクス・プラズマ	4305
			生物物理・化学物理	4306
		地球惑星科学	固体地球惑星物理学	4401
			気象・海洋物理・陸水学	4402
			超高層物理学	4403
			地質学	4404
			層位・古生物学	4405
			岩石・鉱物・鉱床学	4406
	化学	基礎化学	地球宇宙化学	4407
			プラズマ科学	4501
			物理化学	4601
			有機化学	4602
		複合化学	無機化学	4603
			分析化学	4701
			合成化学	4702
			高分子化学	4703
			機能物質化学	4704
			環境関連化学	4705
		材料化学	生体関連化学	4706
			機能材料・デバイス	4801
			有機工業材料	4802
			無機工業材料	4803
	工学	応用物理学・工学基礎	高分子・繊維材料	4804
			応用物性・結晶工学	4901
			薄膜・表面界面物性	4902
			応用光学・量子光工学	4903
			応用物理学一般	4904
			工学基礎	4905
		機械工学	機械材料・材料力学	5001
			生産工学・加工学	5002
			設計工学・機械機能要素・トライボロジー	5003
			流体工学	5004
			熱工学	5005
			機械力学・制御	5006
			知能機械学・機械システム	5007
		電気電子工学	電力工学・電気機器工学	5101
			電子・電気材料工学	5102
			電子デバイス・電子機器	5103
			通信・ネットワーク工学	5104
			システム工学	5105
		土木工学	計測工学	5106
			制御工学	5107
			土木材料・施工・建設マネジメント	5201
			構造工学・地震工学・維持管理工学	5202
			地盤工学	5203
		建築学	水工水理学	5204
			交通工学・国土計画	5205
			土木環境システム	5206
			建築構造・材料	5301
			建築環境・設備	5302
		材料工学	都市計画・建築計画	5303
			建築史・意匠	5304
			金属物性	5401
			無機材料・物性	5402
			複合材料・物性	5403
		プロセス工学	構造・機能材料	5404
			材料加工・処理	5405
			金属生産工学	5406
			化工物性・移動操作・単位操作	5501
			反応工学・プロセスシステム	5502
	総合工学	生物科学	触媒・資源化学プロセス	5503
			生物機能・バイオプロセス	5504
			航空宇宙工学	5601
			船舶海洋工学	5602
			地球・資源システム工学	5603
		基礎生物学	リサイクル工学	5604
			核融合学	5605
			原子力学	5606
			エネルギー学	5607
			遺伝・ゲノム動態	5701
			生態・環境	5702
		人類学	植物生理・分子	5703
			形態・構造	5704
			動物生理・行動	5705
			生物多様性・分類	5706
			構造生物化学	5801
生物系	生物学	生物科学	機能生物化学	5802
			生物物理学	5803
			分子生物学	5804
			細胞生物学	5805
			発生生物学	5806
		基礎生物学	進化生物学	5807
			人類学	5901
			生理人類学	5902

系	分野	分 科	細 目 名	細目番号	備考	
生物系	農学	農学	育種学	6001		
			作物学・雑草学	6002		
			園芸学・造園学	6003		
			植物病理学	6004		
			応用昆虫学	6005		
		農芸化学	植物栄養学・土壌学	6101		
			応用微生物学	6102		
			応用生物化学	6103		
			生物生産化学・生物有機化学	6104		
			食品科学	6105		
		林学	林学・森林工学	6201		
			林産科学・木質工学	6202		
		水産学	水産学一般	6301		
			水産化学	6302		
		農業経済学	農業経済学	6401		
		農業工学	農業土木学・農村計画学	6501		
			農業環境工学	6502		
			農業情報工学	6503		
		畜産学・獣医学	畜産学・草地学	6601		
			応用動物科学	6602		
			基礎獣医学・基礎畜産学	6603		
			応用獣医学	6604		
			臨床獣医学	6605		
		境界農学	環境農学	6701		
			応用分子細胞生物学	6702		
		医歯薬学	薬学	化学系薬学	6801	
				物理系薬学	6802	
				生物系薬学	6803	
				創薬化学	6804	
	環境系薬学			6805		
	医療系薬学			6806		
	基礎医学		解剖学一般(含組織学・発生学)	6901		
			生理学一般	6902		
			環境生理学(含体力医学・栄養生理学)	6903		
			薬理学一般	6904		
			医化学一般	6905		
			病態医化学	6906		
			人類遺伝学	6907		
			人体病理学	6908		
			実験病理学	6909		
寄生虫学(含衛生動物学)			6910			
細菌学(含真菌学)			6911			
ウイルス学			6912			
免疫学			6913			
境界医学	医療社会学		7001			
	応用薬理学		7002			
	病態検査学		7003			
社会医学	衛生学		7101			
	公衆衛生学・健康科学		7102			
	法医学		7103			
内科系臨床医学	内科学一般(含心身医学)		7201			
	消化器内科学		7202			
	循環器内科学		7203			
	呼吸器内科学		7204			
	腎臓内科学		7205			
	神経内科学		7206			
	代謝学		7207			
	内分泌学		7208			
	血液内科学		7209			
	膠原病・アレルギー・感染症内科学		7210			
	小児科学		7211			
	胎児・新生児医学		7212			
	皮膚科学		7213			
	精神神経科学		7214			
	放射線科学		7215			
	外科系臨床医学	外科学一般	7301			
		消化器外科学	7302			
		胸部外科学	7303			
脳神経外科学		7304				
整形外科学		7305				
麻酔・蘇生学		7306				
泌尿器科学		7307				
産婦人科学		7308				
耳鼻咽喉科学		7309				
眼科学		7310				
小児外科学		7311				
形成外科学		7312				
救急医学		7313				
歯学		形態系基礎歯科学	7401			
		機能系基礎歯科学	7402			
	病態科学系歯学・歯科放射線学	7403				
	保存治療系歯学	7404				
	補綴理工系歯学	7405				
	外科系歯学	7406				
	矯正・小児系歯学	7407				
	歯周治療系歯学	7408				
看護学	社会系歯学	7409				
	基礎看護学	7501				
	臨床看護学	7502				
	地域・老年看護学	7503				

「生物系」の備考欄において、**が付してある11細目は、基礎研究(C)のうち審査区分「一般」については、キーワードにより2分割されたグループ毎に第1段審査を行うので、基礎研究(C)のうち審査区分「一般」で、これらの細目に申請する場合には、「系・分野・分科・細目表」付表キーワード一覧(生物系)(35～39頁参照)により、必ず、1又は2を選択し、申請すること。**